

P&C 通信

発行 特定非営利活動法人
プラチナ&チャレンジド 人財センター
住所 兵庫県加古郡稲美町国安 1123
Tel 078-492-6764 Fax 078-492-6836
URL <http://npo-pc.com>

今年度の事業計画を承認

平成 24 年度通常総会を開催

2月22日、エスコアハーツ本社事業所(旧ノーリツ土山工場)において、就労支援事業開始後2度目となるP&Cの通常総会が開催され、ノーリツ、エスコアハーツ、ノーリツ労組の3法人会員と11名の個人会員が出席しました。

清田理事長は平成23年度事業報告で、就労者の拡大として3名の実績を上げたものの、P&Gへの内定が決定していた1名が本人都合で辞退となってしまい、スタッフ全員が「心の問題」への対応の難しさを痛感させられたと述べました。

利用者の拡大については思ったほど増えず、まだまだ施設の存在の訴求が不十分で、10月にホームページを開設したと報告しました。一方体制の強化については、生産現場に長けた石田、米村両氏の加入により大きく前進、作業種類についてはウレタンと段ボールの緩衝材、缶体用バツフル板組立の3アイテム拡大ができたと報告しました。

議案として提案されたノーリツOBの石田氏の理事就任は全会一致で承認されました。

今年度の事業計画としては「就労者拡大」等前年度と同様の活動の強化に加え、利用者の父兄が抱える不安と訓練の長期化に対応するための「就労継続支援事業B型」の導入が提案されました。活発な質疑応答により新事業につい

での理解を深めた参加者全員が賛成しました。

利用者の教育については仕事への意欲を高めることを最優先し、プログラムに実習や資格取得、算数のレベルアップも組み込むことを目指すと述べました。



B型事業参入について審議中の通常総会

総会終了後、ノーリツの小関経営企画室長、



道清 人事部長、
宮坂 労組委員長が作業場を見学し

ました。総会で報告された改善状況や新たに取り込んだ作業内容について、清田理事長から説明を受け大いに理解を深めると共に、この1年間の進歩を実感していただきました。

作業場は大変身



広く明るくなった作業場の全景

長らく生産現場で働いてきた石田さんと米村さんがP&Cのスタッフに加わった昨年6月以来、作業場では様々な改善が行われてきました。昨年12月にはエスコアとエスコアハーツの合併に伴い、P&Cの作業場のある土山工場のレイアウトが大幅に変更され、作業場は窓側に移動するとともに広くなりました。そんな中から事例のいくつかを紹介します。



緩衝材を生産する作業場上部に、排気ダクトと加湿装置を設置し、空気の清浄化と冬季の乾燥を防止します。また作業着に加えてキャップとエプロンを準備しました。



緩衝材のチップを入れる容器と容器の高さを変更して、楽な姿勢でビニール袋にチップを投入することができるようになりました。またチップの残量管理も容易になりました。



種類ごとの緩衝材の完成品置場を確保することで、在庫管理や整理・整頓が容易になりました。



様々な作業場には作業手順や区分け基準を、現物や写真を使い判り易く表示しました。

これらの改善は利用者の安全・衛生や生産物の品質向上に大きく貢献しています。